

企画事業 「ボランティアに関する研修事業」

事業名	ボランティアセミナー
実施期間	平成21年4月24日(金)～26日(日)
担当者	企画指導専門職 大城 辰秀



I 事業の趣旨

ボランティア活動は、青少年の人格的成長や社会的成長を促す効果がある。

しかしながら、今日ボランティア活動への参加が進んでいない、関心が高まっていない現状がある。このような課題への対応として青少年教育施設の果たす役割は大きく、ボランティア活動の推進を図る事業の実施が期待されている。青少年にボランティア活動を深く理解させ、実践を交えて研修を深め、ボランティア活動に必要な考え方や技術を体得する機会を提供し、ボランティア活動への参加意欲と関心を高めるための取り組みが求められている。

このような状況を踏まえ、当施設では、ボランティア養成事業として「法人ボランティア育成共通カリキュラム」を中心にプログラムを構成し、ボランティアの意義や役割等を身につけるとともに当施設の特徴ある活動プログラムである海洋研修をとおして実践的な活動技術を身につける。また、参加者相互の交流の手法やキャンプのプログラム作りのためのグループワークなども行い、ボランティアに必要な知識・技能の習得を図り、プログラムを通してボランティアへの参加意欲と関心を高める活動となるよう企画・実施した。

II 事業の概要

1 事業の目的

ボランティアに必要な知識・技能の習得を図り、活動の場の提供を通して、青年ボランティアの自主的な活動を支援する。

2 参加対象及び募集人員

高校生以上 30人

3 参加状況

高校生から各種専修学校生、短大生、大学生に向けて30名の募集したところ、35名の応

募があった。内訳は高校生5名、大学生30名であった。

4 実施上の留意事項

(1)運営について

法人ボランティアとして必要なカリキュラムを踏まえつつ、国立沖縄青少年交流の家の立地条件を活かし、テント設営や炊飯などの野外活動を体験するプログラムを展開した。今回は、悪天候のため、海洋研修を取りやめたが、荒天時プログラムが功を奏し、先輩ボランティアとの交流場面を多く設定し、ボランティアの生の声を伝え、実体験に基づく対話をとおして交流活動を展開することができた。



【ワークショップ】

(2)健康管理について

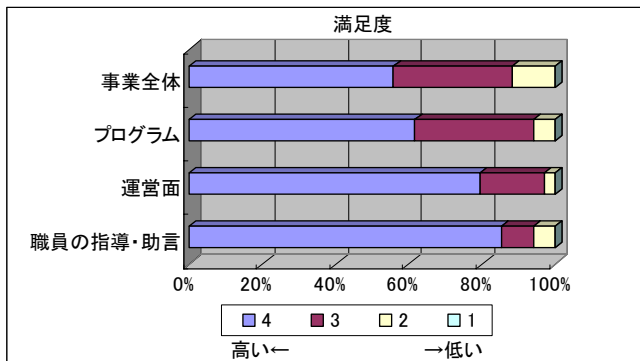
朝のつどいや活動中の健康管理や体調チェックを職員、先輩ボランティアとで行った。また、熱中症予防のために常にキーパーにむき茶を用意し自由に水分補給がとれるようにした。

(3)安全管理について

野外活動では、活動前にオリエンテーションを行い、安全に配慮した活動が自主的にできるようにした。

5 アンケート結果

アンケートの結果から、「満足」「おおむね満足」を含めると「事業全体」以外は、全て90%以上の満足度となった。参加者の自由記述から、職員の指導、先輩ボラの関わり方など、これからボランティアを始めようとする者にとって示唆を与える内容だったようである。



また、「事業全体」では、悪天候のため海洋研修ができなかったことによる不満があった。



【薪に火を付ける方法は？】



【心肺蘇生法を学ぶ】

Ⅲ 成果と課題

1 事業の成果

参加者は、講義や演習などでボランティアに

必要な知識と技能の習得を図り、当施設でボランティアとして活動するための基礎を身につけた。協力頂いた先輩ボランティアが運営面や個々の参加者へのサポートなども含め積極的に関わり、終始和やかな雰囲気作りができ、法人ボランティアへの理解を深める場となった。その結果、34名の参加者が法人ボランティアとして新規に登録した。

2 今後の課題

参加者には学校の単位取得を目的とする学生が見受けられ、その中には学校同様、座学による知識理解を主眼とするものもいる。2泊3日のカリキュラムの中で知識理解と技術を身につけ、今後の活動に結びつけるためにも、参加者同士の日頃からの交流、連携が必要であり、そのコーディネートが肝要と考える。

Ⅳ その他

1 担当者の感想

年間を通してボランティア活動が行えるよう、当施設では年度初めに当事業を実施している。事業終了と同時に参加者全員が法人ボランティアとして登録することができた。このことは、今後、青少年教育を目的とした事業において、企画・運営の一端を担い、多くのボランティアが事業に参加していくことへの関心や意欲を示しているものと考察できる。

当事業をとおして参加者自身が人間関係や生活習慣、規範意識などの社会生活の基盤をなす能力を身につけることがボランティア活動への一歩となり、ボランティア活動へ参加することで青少年にボランティアの魅力伝える役割を担う人材となるよう期待している。



【先輩ボランティアの下にテント設営に挑戦！】